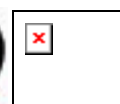


秦野市立 桜土手古墳展示館 だより



SAKURADOTE Archaeological Museum

2010年 秋号

平成22年度これからの展示と催し物のご案内

開館20周年特別展「発掘された秦野の古墳」

とき：平成22年10月9日(土)～12月5日(日) ところ：ミュージアムプロムナード

開館20周年を機会として、「古墳」という原点に立ち返り、これまでに市内で発掘された古墳、横穴墓から出土した遺物の展示を行います。また、専修大学の協力を得て、桜土手古墳群



発掘現場での銀装大刀

13号墳出土遺物の「里帰り」展示も行います。さらに、今年7月二子塚古墳(市内下大槻)で発見された、全形では県内初の銀装大刀(ぎんそうたち)も展示する予定です。

主な展示資料

二子塚古墳出土遺物(銀装大刀等)、金目原古墳群出土遺物、桃木原古墳群出土遺物、下大槻欠上遺跡1号墳出土遺物、落合背戸横穴墓群出土遺物、桜土手古墳群7号墳出土遺物、桜土手古墳群13号墳出土遺物

ミュージアムさくら塾

「開館20周年」企画として、桜土手古墳群について最新の研究成果をまじえた講座を織り込み、講演会を開催する予定です。参加をお待ちしています。

場 所 桜土手古墳展示館 時 間 13:30～15:30

定 員 70名(先着順)事前申込みが必要です。

詳細は後日広報はだなのでお知らせします。



第1時限目受講風景

オススメの講師陣(題名は仮題です)

<第2時限目>11月6日(土)・「桜土手古墳群の前庭について」

講師：群馬県桐生市教育委員会 加部二生(かべにたか)氏

<第3時限目>11月13日(土)・「桜土手古墳群の墳丘内石積」

講師：専修大学文学部 土生田純之(はぶたよしゆき)氏

<第4時限目>11月20日(土)・「桜土手古墳群の地域的意義」

講師：かながわ考古学財団 柏木善治氏

<第5時限目>11月22日(土)・「成人式のはなし」

講師：國學院大學文学部 小川直之氏

<第6時限目>開催日は調整中・「米倉丹後守について」

講師：駒澤大学文学部 久保田昌希氏



ミュージアムさくら工房「土の器(うつわ)屋」

今年は縄文土器作り教室を年3回開催しています。今年最後の教室です。あなたも参加してみませんか!!

*12/4(土)成形、1/15(土)焼成(雨天翌週順延)

*定員10名(申込み先着順)

*大人対象

*参加費300円/1人

*事前の申込みが必要です。

*申込み方法：11月15日から電話で受付ます。

0463-87-5542



ミュージアム青空レクチャー「仏像めぐり」

市内の文化財や歴史について専門の講師に学ぶ野外授業です。!!

*講師 薄井和男氏(神奈川県立博物館学芸部長)

*11/28(日)

一昨年の授業風景

*大人対象 *定員30名

*参加費未定

*申込み方法等については、11月1日号の広報はだなのでお知らせします。



桜土手古墳公園と展示館のできるまでのご紹介
 桜土手古墳公園と展示館の基本計画からできるまでを振り返りながら建設に携わった人たちの想いを紹介します。

桜土手古墳公園整備基本計画

昭和60年(1985)桜土手古墳群は、博物館施設を伴う古墳公園として整備されることになりましたが、一体どの様な考え方や形で整備するのか、その計画をたてることから始めました。

私達が参考にしたのは、九州の佐賀県にある久保泉丸山古墳という遺跡の整備でした。これは九州自動車道により消滅してしまう支石墓と古墳群を少し離れた所に移築し公園として整備したもので、当時としては最も新しいもので古墳の規模も桜土手のものとよく似ていました。これを参考に大まかな計画を立てました。昭和61年(1986) [桜土手古墳公園整備委員会] を発足しました。これは考古学者や発掘担当者及び市の理事者などで組織され、整備に関する基本的な事項を検討し決定していきました。復原古墳の位置や形(発掘したときの形にするのか、造営された当時の形にするのか)、博物館施設の形や位置や展示について、保存古墳の保存方法など色々なことを決定し、桜土手古墳公園整備基本計画書という形にまとめました。この計画書をもとにして古墳公園・展示館は設計され建設されたのです。

開館当時の展示館と配置計画図



野外展示 ミュ-ジウムプロムナ-ドを抜け、階段を昇り外に出ると、目の前に一つの古墳が現れます。120度ほど振り返ると、いくつかのマウンドとひととき大きな白い復原古墳が、高い木々の間に広がっています。ここ野外展示では、公園内を散策しながら古墳一つ一つに設置された陶板タイルによる解説で、その古墳の規模、公園整備前の写真等を見ることができます。

桜土手古墳展示館は、展示基本理念として、保存古墳と復原古墳の野外展示活動が、展示館活動と一体となった博物館として建設されました。桜土手古墳群は、全部で35基からなる古墳群ですが、現在ではその内の12基が保存されており、古墳公園にはその内6基が、眠りについた当時のままの状態で保存されています。遺跡がタイムカプセルを受け継ぐような形で後世に保存されています。また隣接してその遺跡の専門館を持つということは、当時としては大変珍しく、特色ある博物館として全国で紹介されました。

復原古墳 古墳公園でひととき目立っているのが、桜土手古墳群の1号墳をモデルにした復原古墳です。当初の計画では2次調査で発掘した38号墳をそのまま移築することが検討されていたのですが、保存状態は不良で[移築]ではなく[復原]に変更されたのでした。本来何も無いところから復原するわけですから、古墳と同じものを現代の技術で造るといことになります。そこでこの映像記録を残し、古代の技術と比較するというアイデアが出され、[古墳の造営]という映像が作られました。復原古墳の石室や「外護列石」と呼ばれる裾まわりの石は、これまでの発掘調査で壊されてしまった古墳の石を再利用したものです。発掘調査報告書の写真を見ると、石室の奥壁は7号墳のものを天地逆さにして使用しています。



<桜土手古墳展示館へのアクセス>

- 小田急線秦野駅北口より徒歩20分
- 〃 バス秦12 秦野駅行「古墳公園前」下車 徒歩2分
- 〃 秦08 〃 「桜土手」下車 徒歩10分
- 小田急線秦野駅北口よりバス秦12 秦野駅北口行「古墳公園前」下車 徒歩2分
- 〃 秦08 〃 「桜土手」下車 徒歩10分

入館無料 開館時間午前9時~午後5時(月曜休館) 駐車場有

桜土手古墳展示館だより .37号

発行日 平成22年8月31日 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX0463-87-5794

URL <http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakusyubunkazai>

